

# Monthly Times



和歌山県立  
串本古座高等学校串本校舎  
平成 27年(2015年) 3月号

## 平成二十六年年度卒業式 〈龍となれ、雲おのずと来たる〉

3/2(月)卒業式が午前9時から挙行されました。本年度は、97名が串本校舎を元気に巣立っていきました。式辞中で安岡勝彦校長は、「自分で考え行動できる人」「ことばの力を磨くこと」「グローバルな精神を身につけること」の三点の大切さを説き、はなむけの言葉としました。在校生を代表し、生徒会長の石橋有紗さんが「私たち在校生も、先輩方が築きあげてくださった本校の素晴らしい伝統をしっかりと受け継ぎ、次の世代へと継承していきます。」と送辞を述べました。それを受けて卒業生代表の松並晃子さんが、「これからはそれぞれ別の道を歩んでいきますが、私は仲間から学んだことをいつまでも大切にし、いつか自分でこの感謝の気持ちを伝えたいと思っています。」と、答辞を述べました。その後、皆勤賞、スポーツ功労賞の表彰、卒業生の思い出を集めたスライド上映を行い、終了後、卒業生は大きな拍手で会場を後にしました。各種表彰は次の通りです。

### 〈皆勤賞〉

- A組 北 悠人、濱口 希
- B組 脊古 翔、寺地 希美香
- C組 東崎 俊希
- D組 西之坊 未彩、和田 舞

### 〈スポーツ功労賞〉

- C組 水本 愛史

### 〈全国商業高等学校協会賞〉

- A組 東 尚哉



卒業証書授与



皆勤賞表彰



送辞



答辞



晴れやかに笑顔の退場

## 防火・防災訓練〈迅速で的確な対応を〉

3/20(金)

串本消防署の協力の下、本年度最後の防災訓練を行いました。潮岬沖で地震が発生し、調理室より出火したとの想定で職員による初期消火を行い、グラウンドに避難し、消火器や消火栓を使って消火訓練を行いました。職員、生徒の防災意識の向上を図り、迅速で適切な対応ができるように企画されたものです。最後に、10名ずつの人数にわかれて、実際の火事を模した「煙体験」の訓練も行いました。



煙体験

## 英語検定、漢字検定合格者状況報告 (資格は人生の財産)

### 【英語検定】

センター試験を意識した学習指導の一環として英語検定2級、準2級取得を目指して生徒たちが頑張り、年間11名の合格者が出ました。結果は以下の通りです。

2級合格者数： 3人  
準2級合格者数： 8人

### 【漢字検定】

英語検定と同様に就職や進学を意識した指導の一環として漢字検定にも取り組みました。将来につなげる力とすることを期待しています。結果は以下の通りです。

2級合格者数： 6人  
準2級合格者数： 13人

## 俳句紹介コーナー

- ◆三月の甘納豆のうふうふう
- ◆たんぽぽのぼぼのあたりが火事です
- ◆桜散るあなたも河馬になりなさい

坪内 稔典

(俳人：作者の坪内さんは、知る人ぞ知るカバ愛好者です。)

## 串本(大島)のホラ貝(水深40メートル)

この写真は大島のホラ貝です。上の貝は30cm近くあり、昨年末に捕獲されたものです。地元の方によると、このサイズは、なかなか捕れなくなってきたということです。下の貝は一昨年末に捕獲されたもので、マンスリータイムズで紹介しました。ホラ貝は、日本に産する最大級の巻貝です。サンゴを食害するオニヒトデを食べることから『オニヒトデの天敵』と言われることもありま



大島のホラ貝(下は30cm定規)

すが、オニヒトデの大量発生を抑える程の効果は無いとされています。内臓(貝が一番毒をため込むのは内臓なので要注意)の部分を除く貝の部分は刺身などの食用とされる他、貝殻の部分は楽器としても使用されます。

## 4月行事予定

- 1(水) = 新入生実力テスト
- 3(金) = 離任式(9:30登校)
- 8(水) = 始業式・新任式・身だしなみ指導
- 9(木) = 入学式
- 10(金) = 対面式・クラブ紹介(体育クラブ)
- 13(月) = 身体測定・クラブ紹介(文化クラブ)
- 13(月)~15(水) = スポーツテスト
- 24(金) = 遠足
- 29(水) = 昭和の日(祝日)

※4/8(水) 始業式は定刻登校のこと(8:30)

## エルトウールのバラ芽吹く

くれなゐの二尺のびたる薔薇の芽の針やはらかに春雨の降る  
(正岡 子規)

明治23(1890)年に串本沖で遭難したトルコ軍艦の名前にちなんで、「エルトウール」と名付けられたバラの苗木が串本町に寄贈され、昨年12月に町役場からいただいて来ました。バラは、昨年5月に埼玉県所沢市で開催された「国際バラとガーデニングショー」に出品された新種で、黒赤色の花をつけ、香りが高いのが特徴だそうです。校内で鉢植えにしていたところ、芽吹いてきました。きれいな花が咲くことを楽しみにしています。ここで、バラの花にちなんだ名言をいくつか紹介します。



エルトウールのバラ

- ◆樾(かし)だけが樹ではない。バラだけが花ではない。多くのつつましい富が私たちのこの世を豊かにしているのだ。

レイ・ハント(イギリスの詩人・エッセイスト)

- ◆悲観的になったら薔薇(バラ)を眺めよ。

アルベール・サマン(フランスの作家)

- ◆この子が綺麗なのは、心の中に薔薇を一輪持ってるからだ。
- ◆君が君のバラのために失った時間こそが、君のバラをかけたがえのないものになっているんだよ。
- ◆君が自分でなじみになったものに対して、君はずっと責任があるんだからね。君は君のバラに対して責任があるんだよ……。

サン・テグジュペリ  
(フランスの作家。『星の王子さま』の作者)

- ◆神は記憶を与えて下さった。それは人生の辛い冬の時期に、6月のバラを思い描けるようにする為だ。

ジェームス・バリー(イギリスの劇作家・童話作家)

- ◆スマレはスマレ、バラはバラ。どんな人でも、その美点だけを凝視しようということです。

浜田広(リコー元社長・会長)

- ◆どうか思い出して。厳しい冬に雪の下で耐える種こそが、太陽の恵みを受け、春になれば薔薇になる。

[英文]

Just remember that in the winter, far beneath the bitter snow, lies the seed that with the sun's love in the spring becomes the rose.

アマング・マクブルーム(米国のシンガーソングライター。『The Rose』の歌詞)